



市史へんさん

第268号

令和3年7月1日
小松市史編纂担当
へんさんだより

延期になった東京オリンピックがいよいよ23日の開会式に向かって、その準備が進められています。この日は今年のみの特例で、従来、10月にある「体育の日」改め「スポーツの日」を充て、「海の日」は22日となって、4連休となります。コロナ感染防止対策を徹底し、選手の皆さんがハツラツとしたプレーができるように、環境づくりに努めたいものです。

さて23日は、「ふみの日」でもあります。7月23日は、7月が「文月」であることから「文月ふみの日」として、「文(フ)を書く」ことに関連付けたイベントが催されています。

当市では、この23日を「市民読書の日」と定め、読書推進を呼び掛けています。この日を機会に文を読んだり書いたり、文を楽しむきっかけづくりになればと願っています。

近現代史を振り返るあの出来事



2023年秋に石川県で開催予定の『国民文化祭』は、いよいよ実行委員会が発足し、「オール石川」の体制で文化の祭典の開催に向け、準備が始まりました。この文化祭が石川で開かれるのは2回目で、1回目は平成4年(1992)でした。近現代史を飾るビッグイベントとして、当市で行われた『国民文化祭』を振り返ってみましょう。

10月25日を皮切りに、「愛と夢を語る手作りフェア」と「ヤングファッション IN 小松」が市民センターを会場に同時開催しました。ものづくりの町にふさわしい企画で、「手作りフェア」では、編物・パッチワーク・染色・ちぎり絵など手工芸の作品を全国から公募し1029点の作品が展示されました(写真右)。開会式では、優秀作品の表彰の後、俳優のキャシー中島さん、辰巳琢郎さんによる「さあ、あなたもはじめましょう」と題してトークショーが開かれ、手作りの良さ、ぬくもりについて対談されました。関連行事として、11月3日までの期間中、毎日、「手作り教室」が開かれ、アートフラワー・押し絵・デコバージュなど、その場で簡単な作品づくりが体験できました。26日には、文化祭開会式にご挨拶を賜った皇太子さま(現天皇)がこの教室の様子をご覧くださいました。



「ヤングファッション IN 小松」は、当市の基幹産業である繊維をPRするため、時代にフィットした個性的なデザインを募集し、優秀作品をファッションショーで発表しました。ショーは、第1部の公募作品40点と、第2部の「和」をテーマにした県内デザイナー19人の作品で構成されました。白を基調とした舞台上で、華やかで幻想的なファッションショーを繰り広げました(写真下)。また、会場では、デザイン画と入賞作品も展示されました。



この他にも、「庭園の精神(こころ)シンポジウム」が公会堂で催され、千宗室お家元による基調講演や勅使河原映画監督、女優の高橋洋子さん他6人によるパネルディスカッションも行われて、庭園と文化の融合について理解を深めました。

児童の発表の場として、「小松・全国児童演劇祭」が市民センターで開かれ、当市からは西町の曳山子供歌舞伎、板津中学校による歌舞伎「勸進帳」が演じられました。

『新修 小松市史 資料編 17 考古』第7章「武士の世へ」の見どころ

第7章では中世の遺跡を紹介する。本章の中での中世とは、平安時代末から戦国時代の約400年間で、武士や寺院・神社が台頭してきたことから、「武士の時代」、「宗教の時代」とも言われる。この中世の遺跡を立地別に、1節の村里の遺跡では梯川低地と能美丘陵、2節の町場の遺跡では東部丘陵地と能美低地の各遺跡を紹介する。

中世を時代区分すると、前期は、平安時代末から南北朝時代(12世紀中頃～14世紀中頃)になるが、この頃、低地では、地頭や武士などの在地領主に加え、自作農の名主も小集落を営むようになる。梯川の中流右岸にある舟見丘と呼ばれる台地には、加賀国惣社である石部(イベ)神社が鎮座し、「府南社(フナシヤ)」と呼称され、その北方に加賀国府があったと推定されている。この地域を含む一帯が古府シマ遺跡(写真右)で、出土遺物には、近畿や東海地方で生産された緑釉・灰釉陶器の椀や皿、中国製白磁碗などがあり、加賀国衙(国府)が当地に存在したことを示すものと理解されている。



後期の室町時代から戦国時代(14世紀末～16世紀後半)になると、梯川右岸の丘陵地では波佐谷の高台に本願寺の拠点となる城郭寺院が造営(波佐谷城跡)された。低地では波佐谷遺跡から青磁碗や香炉、白磁皿に天目茶碗9点が、大壺の中から一括して発見され、「陶磁器埋納」の事例として加賀地方では希有な資料として注目されている。一方、町場では曲物などの職人の集住が進み、幸町遺跡(写真左)では、鍛冶炉関連遺構が見つかり、鉄生産が盛んだったことが確認された。

<6月の活動状況>

- ・ 6月 6日(日) 通史(原始・古代)部会
- ・ 6月 18～29日 御用留資料調査
- ・ 6月 23日(水) 通史(中世)部会



<7月の活動予定>

- ・ 7月 15日(木) 通史(近世)部会



<7月のカレンダー> 開室時間 10:00～12:30/13:00～17:00(火～土)

日曜日	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
6/27	6/28	6/29	6/30	1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

* は閉室しています。開室時間は、図書館の開館時間に合わせてあります。上記以外の時間も含め、御用のある方は、9時から17時まで受け付けていますので、下記にご連絡ください。

小松市史編纂担当(小松市立図書館2階)

- ・ 住所 〒923-0903 小松市丸の内公園町19 芦城公園内
- ・ TEL 0761(24)5315 ・ FAX 0761(22)9763
- ・ E-mail hensansitu@city.komatsu.lg.jp
- ・ URL <https://www.city.komatsu.lg.jp/soshiki/toshokan/shishihensan/index.html>

